

令和7年度

「株式会社ゆめぐり」の経営状況に関する資料

事業報告書

決算報告書

企画部企画課

(株)ゆめぐり 令和7年度事業報告及び決算報告書

《令和7年4月1日から令和8年3月31日》

1. 総 括

昨今の社会経済情勢の変化は目まぐるしく、中東情勢などの影響による物価高騰や賃金の引き上げなど国民生活に及ぼす影響のほか、企業における経営への影響も少なくない状況と言われております。

観光業においても、円安影響等による訪日外国人客が増加してきているとはいえ、栗原市においては、インバウンド需要による増加はほとんどないような状況であったほかに、近年の猛暑による野外活動の抑制や熊の出没による外出抑制など影響により、コロナウイルス後の観光客数の回復は伸び悩みの状況でありました。

令和7年度は、会社経営統合後3ヶ年間の経営改善計画期間の最終年度として営業活動を行ってきましたが、収支計画額を達成するに至りませんでした。

全体の売り上げ計画においては、新型コロナウイルス以前の回復を期待しておりましたが、物価高騰などの影響を始め、ハイルザーム栗駒の冬季休業や熊の出没、秋の天候不順などにより、金成温泉延年閣以外の施設は未達成となりました。なお、売上高の前年比較では、ハイルザーム栗駒の冬季休業等による減収分を、集客強化のほかA Iの導入による周辺同業者との価格比較で他社に負けない価格や、季節による高額な価格での販売が可能となったことなどにより、他施設では前年売上高を上回る結果となることができました。

なお、前年度の人件費や光熱費の高騰に対する栗原市からの支援金の相当額が雑収入で減額となりましたが、その相当額が指定管理料に追加されたことにより前年比で増額となりました。

また、経費においては、社会情勢における人件費、物価高騰による影響がある中で、人件費では賃金の値上げや5名分の退職金支給、電子決済サービスによる支払い手数料やマイクロバスなど車両リースの減価償却費の増加などにより、計画額より約20,000千円の増額となりましたが、前年度比較では300千円の減額となったほか、営業費・水道光熱費などではハイルザーム栗駒の冬季休業もあったことから、計画より減額となり、販売費一般管理費合計でも計画額より約2,000千円の減、前年比では約17,000千円の減となりました。

このように大変厳しい令和7年度は、長期借り入れや短期借り入れをせざるを得ない年度となりましたが、令和8年度から令和10年度までは新たな指定管理期間として、社会・経済情勢を考慮した指定管理料の増額の中で、これまでの3年間の経営改善体験を活かして各施設の管理運営に取り組んでまいります。

2. 事業報告

当社において栗原市より指定管理を受けている6施設（ハイルザーム栗駒、花山温泉温湯山荘、くりはら交流プラザ、金成温泉金成延年閣、花山青少年旅行村、仙台藩花山村寒湯番所跡）、並びに宮城県より受託している施設（栗駒レストハウス、こもればの森）に加え、耕英地区児童送迎業務など、各施設の条例を遵守し、営業してまいりました。

① 経営改善の取組み

- ・利用料金等の値上
- ・各施設の休館設定
- ・電話予約の一括集中管理
- ・予約システムの統一化
- ・OTA によるインターネット販売強化
- ・ホームページ改修
- ・人員交流による人員の確保と人件費抑制実施
- ・所有車両の交互利用推進による経費削減
- ・燃料・飲料の一括見積による経費削減
- ・広告宣伝、戦略の統一による PR 力の強化
- ・ハイルザーム栗駒の冬季間（11/10～3/31）休業

② ゆめぐりとしての統一事業

- ・「ミスゆめぐり」を「ゆめぐり大使」として任命延長
- ・感謝祭（各 4 施設）
- ・在京ふるさと会への営業
- ・宮城テレビ放送「OH バンデス」視聴者プレゼント（ペア宿泊券）による PR 強化
〔7 年 4 月～8 年 3 月〕

放送回数	38 回	当選者数	17 人
宿泊利用	14 回	利用人数	32 人
- ・統一企画「お祝い記念日プラン」の企画・実施

3. 改善事項

- ・栗原市と経営健全化に向け定期的な協議の実施
- ・各施設における新メニュー企画の販売
- ・「三湯物語」の販売
〔7 年 4 月～8 年 3 月〕
ハイルザーム栗駒 248 人、 温湯山荘 268 人

4. 地域貢献事業

- ・市内各地区のイベントへの出店、広告協賛、景品提供

第 3 1 期

決 算 報 告 書

令 和 7 年 4 月 1 日 から

令 和 8 年 3 月 3 1 日 まで

株 式 会 社 ゆ め ぐ り

(法人番号:9370201003054)

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

[illegible]

損 益 計 算 書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

商号 株式会社 ゆめぐり

(単位：円)

科 目					金 額		
I	売上 受指委	託定託	事業管 理品	業料上 収収	高入 入		
						468,529,950 18,589,000 98,327,266 715,040	586,161,256 586,161,256
II	売上 期商合 期売	上 首品 末上	棚仕 棚総	原卸 入卸 利	価高 高計 高益	98,550,344	6,142,480 98,550,344 104,692,824 4,623,146 100,069,678 486,091,578
III	販 販 営	費 費 業	及 及 業	び び 一 般 損	管 理 費 失		558,197,235 558,197,235 72,105,657
IV	営 受 雑	業 取	外 収	収 利	益 息 入		103,134 7,021,078 7,124,212
V	営 支 営	業 払 業	外 権	費 利 償	用 息 却		810,381 4,200,000 5,010,381
	経	常	損	失			69,991,826
VI	特 特	別 別	利 利	益 益		0	0
VII	特 固	別 定	資 産	損 売	却 損	15	15
	税 引 前 当 期 純 損 失	法人税、住民税及び事業税				558,782	69,991,841 558,782 70,550,623

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
給 料 ・ 賃 金	228,759,533
従 食 材 料	1,232,102
旅 費 交 通 費	1,521,409
広 告 宣 伝 費	5,011,099
荷 造 運 賃	281,548
車 両 費	6,520,038
支 払 手 数 料	18,492,336
販 売 促 進 費	3,492,121
業 務 委 託 費	1,135,455
役 員 報 酬	4,090,000
法 定 福 利 費	29,782,898
福 厚 生 費	625,022
退 職 償 却 金	14,523,805
減 損 繕 修 費	9,600,439
事 務 用 消 耗 品 費	15,402,350
通 道 信 光 熱 費	2,680,246
水 租 税 公 課	2,179,205
寄 待 付 交 際 費	4,449,981
接 保 交 険 費	127,392,115
営 業 用 消 耗 品 費	3,824,170
管 理 諸 費	15,000
研 修 ・ 図 書 費	307,757
諸 委 託 費	3,936,812
施 設 管 理 費	12,357,068
会 議 費	3,070,012
雑 費	572,941
合 計	860,964
	39,402,813
	12,985,797
	3,692,199
	558,197,235

棚 卸 資 産 の 計 算 内 訳

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	1,492,722
原 材 料	3,130,424
貯 蔵 品	6,093,492
合 計	10,716,638

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 ゆめぐり

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

I 株 主 資 本			
1. 資 本	金		
	当期首残高		248,942,000
	当期変動額		0
	当期末残高		248,942,000
2. 資 本 剰 余 金			
(1) その 他 資 本 剰 余 金			
資本金資本準備金減少差益			
	当期首残高		6,655,804
	当期変動額		0
	当期末残高		6,655,804
その 他 資 本 剰 余 金 合 計			
	当期首残高		6,655,804
	当期変動額		0
	当期末残高		6,655,804
3. 利 益 剰 余 金			
(1) 利 益 準 備 金			
	当期首残高		4,700,000
	当期変動額		0
	当期末残高		4,700,000
(2) その 他 利 益 剰 余 金			
別 途 積 立 金			
	当期首残高		980,000
	当期変動額		0
	当期末残高		980,000
施 設 修 繕 準 備 金			
	当期首残高		1,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		1,000,000
繰 越 利 益 剰 余 金			
	当期首残高		-296,757,668
	当期変動額		
	当期純損失	-70,550,623	-70,550,623
	当期末残高		-367,308,291
その 他 利 益 剰 余 金 合 計			
	当期首残高		-294,777,668
	当期変動額		
	当期純損失	-70,550,623	-70,550,623
	当期末残高		-365,328,291
4. 自 己 株 式			
	当期首残高		-10,000
	当期変動額		0
	当期末残高		-10,000
株 主 資 本 合 計			
	当期首残高		-34,489,864
	当期変動額		
	当期純損失	-70,550,623	-70,550,623
	当期末残高		-105,040,487
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
III 新 株 予 約 権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0

純 資 産 の 部 合 計

当期首残高		-34,489,864
当期変動額		
当期純損失	<u>-70,550,623</u>	<u>-70,550,623</u>
当期末残高		<u><u>-105,040,487</u></u>

個別注記表

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

Ⅰ．重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による低価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

法人税法の規定に基づく定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については法人税法の規定に基づく旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

(2)長期前払費用

法人税法の規定に基づく期間均等償却を採用しております。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

Ⅱ．貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

122,818,149円

Ⅲ．株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

5,987株

2. 自己株式総数

20株

Ⅳ．リースにより使用する固定資産に関する注記

1. 重要なリース固定資産

貸借対照表の計上した固定資産の他、リース契約により使用している主要な固定資産として、車両運搬具（営業用車両・送迎用大型バス）、器具備品（複写機・業務用冷蔵冷凍庫）等があります。

2. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引のうち、平成20年3月31日以前に契約したリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

Ⅴ．一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、-17,603.56円であります。

2. 一株当たり当期純損失は、11,823.46円であります。

以 上

株式会社ゆめぐり 役員名簿

役 職	氏 名	備 考
代表取締役	五十嵐 秀樹	
代表取締役代行取締役	千葉 和俊	
取締役	二階堂 秀紀	
取締役	阿 部 庸	
取締役	渡 邊 誠 悦	
取締役	石 川 輝 芳	
取締役	高 橋 一 晃	
取締役	佐 藤 靖 秀	
監査役	炭 屋 一 夫	
監査役	菅 原 隆 雄	